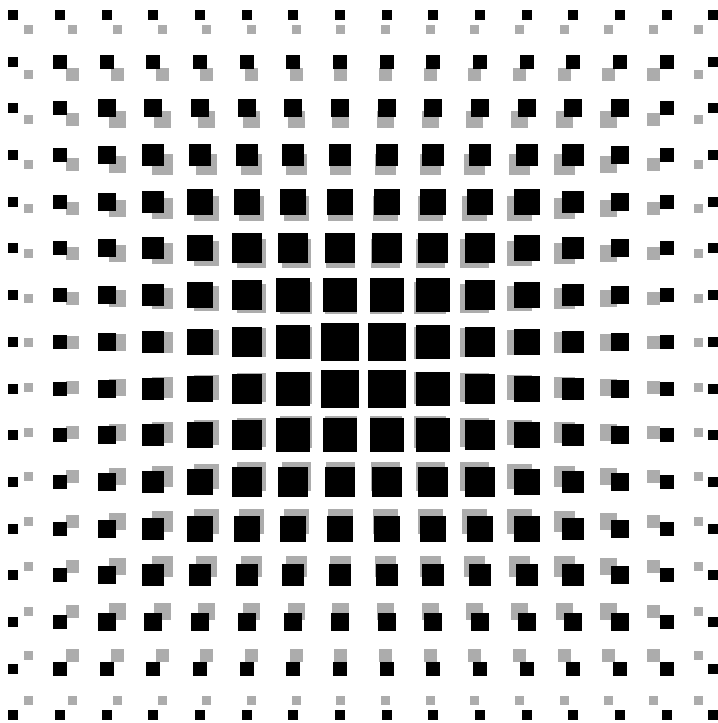
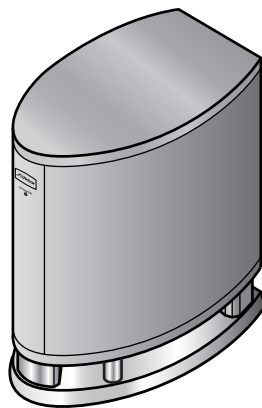
パワード サブ ウーハー

型名 **SX-DW505**

Powered Subwoofer
SX-DW505

目　次

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に 2～4 ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LVT1389-001A

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠注意

● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠警告

異常時の注意

■万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない。火災や感電の原因となります。

電源プラグを抜く

- 煙が出ている、へんなにおいがするなど異常のとき
- 内部に水や金属物が入ってしまったとき
- 落としたり、キャビネットが破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出、断線など）

このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店に修理を依頼してください。お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

電源コードについて

■電源プラグの差し込みが不完全な状態で使わない

- 接触不良により発熱し、火災や感電の原因となります。
- たこ足配線も、コードが熱をもち危険ですのでしないでください。

■電源コードを加工したり、無理な力を加えたりしない。また家具などの重い物をのせない

- コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
- 芯線が露出するなど、コードが傷んだ場合は、使用を中止し、販売店にご相談ください。

■電源プラグにほこりや汚れがついた状態で使用しない。また金属物を近づけたりしない

- 電気がほこりや汚れ、金属物を伝わり、火災や感電の原因となります。
- 半年に一度は、プラグをコンセントから抜いて点検し、プラグとコンセントの間にたまったほこりや汚れを取り除いてください。

⚠警告

ご使用について

■電源は交流(AC)100Vを使う

・この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車や船舶などの直流(DC)電源に直接つないだり、指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

■機器の上に、液体の入った容器や小さな金属物をおかない

・液体が内部に入った場合は、電気が液体や金属部を伝わり、火災や感電の原因となります。

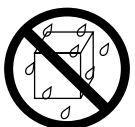
■機器内部に金属物や燃えやすいものを入れない

・火災や感電の原因となります。
・特にお子様にはご注意ください。

■ネジをはずしたり、分解、改造したりしない

分解禁止

・内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
・内部の点検や修理などは、販売店にご依頼ください。

■水をかけたりぬらしたりしない

水ぬれ禁止

・機器を水がかかる場所で使用したり、水にぬらす（つける、かける、こぼす）などして使用すると漏電によって火災や感電の原因となります。
・万一、内部に水が入ったときは、電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご相談ください。

■ぬれた手でさわらない

ぬれ手禁止

・機器をぬれた手で扱うと感電の原因となります。

■風呂、シャワー室では使用しない

水場での使用禁止

・風呂場やシャワー室では使用しないでください。漏電によって火災や感電の原因となります。

雷について

■雷が鳴ったら、アンテナ線や機器の金属部、電源プラグに触れない

接触禁止

・誘導雷により、感電の恐れがあります。

設置について

■本機の置き方は

・あお向け、横倒し、逆さま、通風孔をふさいだり、風通しの悪い狭い所、などに設置すると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。
・機器は壁から10cm以上、天面から10cm以上、両側は10cm以上の間隔をあけてください。間隔をあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠注意

電源コードについて

■電源プラグの抜き差しはプラグを持つ

・コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

・感電する恐れがあります。

■熱器具に近づけない

・コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となることがあります。

設置・接続について

■湯煙や湯気の当たるところや湿気・ほこりの多いところに置かない

・電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因となることがあります。

■異常に温度が高くなるところに置かない

・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因となることがあります。
・直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

■機器の上に大きいものや重いものは乗せない

・バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■不安定な場所に置かない

・機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

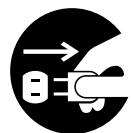
■接続の前に接続する全ての機器の電源を「切」にしておく(電源プラグをコンセントから抜いておく)

・電源が「入」の状態で接続すると、突然大きな音が出て聴力障害の原因となることがあります。

ご使用について

■はじめから音量を上げすぎない

・突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。
・あらかじめ音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

■長期間使用しないときは、安全のため、電源プラグを抜いておく

電源プラグを抜く

・旅行などで長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れについて

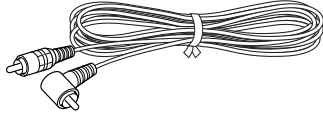
■お手入れの前には、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

・電源を入れたままにしておくと、感電の原因となることがあります。

付属品の確認

ご使用になる前に本機の付属品をご確認ください。

・シグナルコード（3m）・・・1本

使用上のご注意

■本機を美しく保つためには

キャビネットやパネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとはからぶきしてください。

■ステレオを聞くときのエチケット

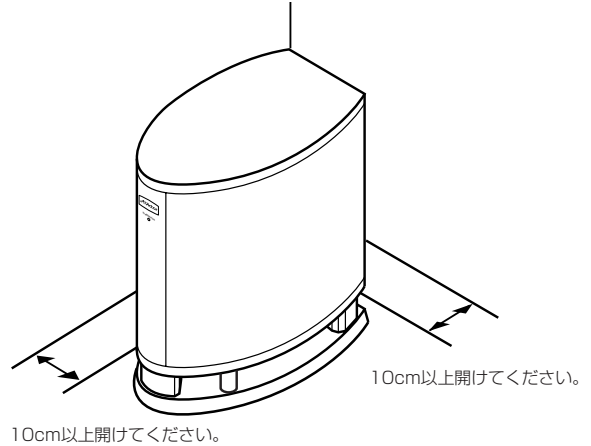
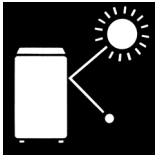
ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

■音場の改善

・反射または共振を起こしやすい洋間では、厚手のカーテンやジュータンなどをお使いください。
また、スピーカーの正面（向かい側）が固い壁やガラス戸などの場合には、反射や定在波の発生を防ぐ目的で厚手のカーテンなどで吸音処理することをおすすめします。

設置上のご注意

■設置上の注意

・前面は大きく開けてください。
・側面は 10cm 以上開けてください。
・上面は 10cm 以上開けてください。
・裏面は 10cm 以上開けてください。

・キャビネットの変形・変色を防止するため、直射日光や湿気の多い所、冷暖房器の近くなどを避けて設置してください。

・スピーカーの振動でハウリングを起こすことがあります。できるだけレコードプレーヤーから離してください。

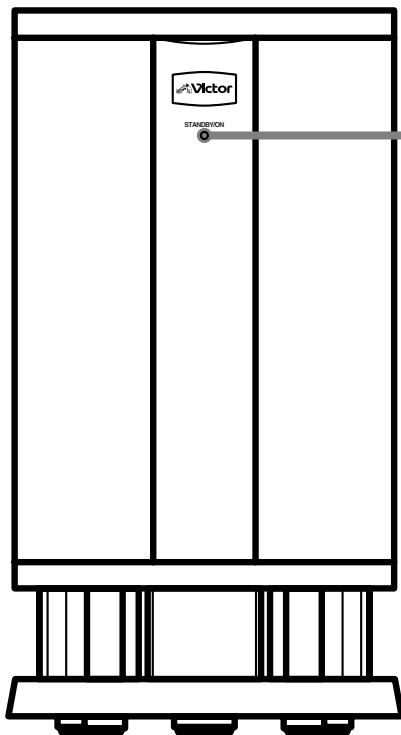
・地震や衝撃などで倒れないように設置場所を十分考慮してください。

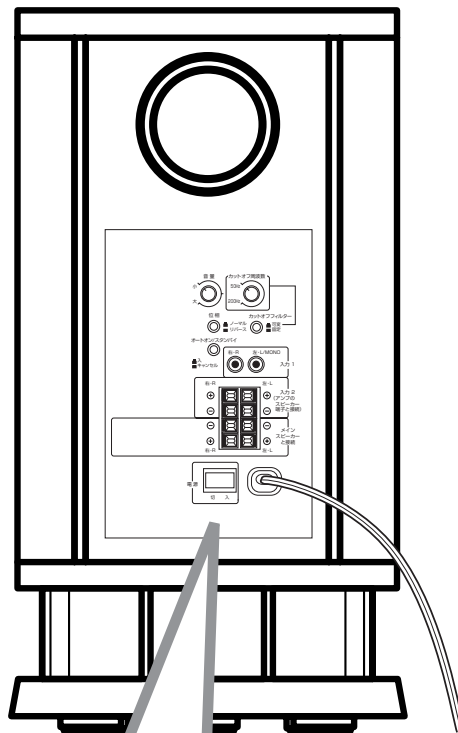
・本機はカラーテレビに対して色むらを起こさないように防磁処理をしてありますが、設置方法によっては色むらが生じる場合があります。設置の際は、以下の点にご注意ください。

1. 本機と一緒にテレビを使用する場合は、必ずテレビの主電源スイッチを切ってから設置してください。なお、テレビの主電源スイッチは切ってから少なくとも 30 分後に入れるようにしてください。
2. テレビの種類によっては、色むらを生じることがあります。色むらを生じるときは、テレビより十分離して設置してください。

・本機の近くで FM 放送や AM 放送をお聞きになると、電波の弱い状態ではノイズが増えることがあります。離して設置するか十分な電波の強さを得られる外部アンテナをご使用ください。

各部の名称と機能

■前面

電源ランプ
電源オン時または、
スタンバイ状態の
ときに点灯します。
赤色：スタンバイ状態
緑色：オン状態

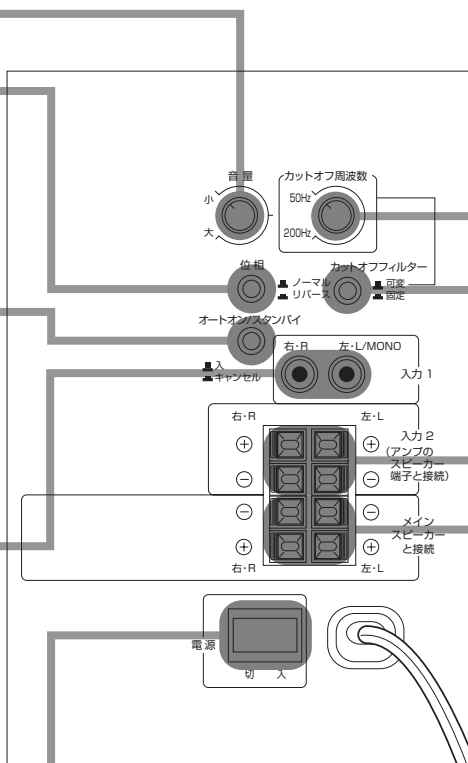
■背面

■アンプ部

音量つまみ
音量を調節します。

位相スイッチ
低音が豊かに聞こえる方に切り替えます。
▀ ：ノーマル
▄ ：リバース

オートオン／スタンバイスイッチ
オートオン／スタンバイ機能の「▀ 入／▄ キャンセル」を設定します。（詳しくは 9 ページの**「操作方法」**を参照してください）

入力 1 端子
接続するアンプ等のサブウーハー出力（MONO出力）端子、ラインまたはプリ出力端子と接続します。（詳しくは次ページの**「接続」**を参照してください）

電源スイッチ
本機の電源を「入／切」します。

カットオフ周波数つまみ
メインのスピーカーとの音のつながりを調節します。
（詳しくは9ページの**「操作方法」**を参照してください）

カットオフフィルタースイッチ
このスイッチによりカットオフフィルターの「▀ 可変／▄ 固定」を設定します。
（詳しくは9ページの**「操作方法」**を参照してください）

入力 2 端子
（アンプのスピーカー端子と接続）
サブウーハー出力端子がないアンプ等のスピーカー出力端子と接続します。

メインスピーカーと接続端子
入力2端子にサブウーハー出力端子がないアンプを接続したときに、メインスピーカーを接続します。
（詳しくは次ページの**「接続」**を参照してください）

接　続　ー全ての接続作業が終了するまで、電源コードはコンセントに差し込まないでくださいー

注 意

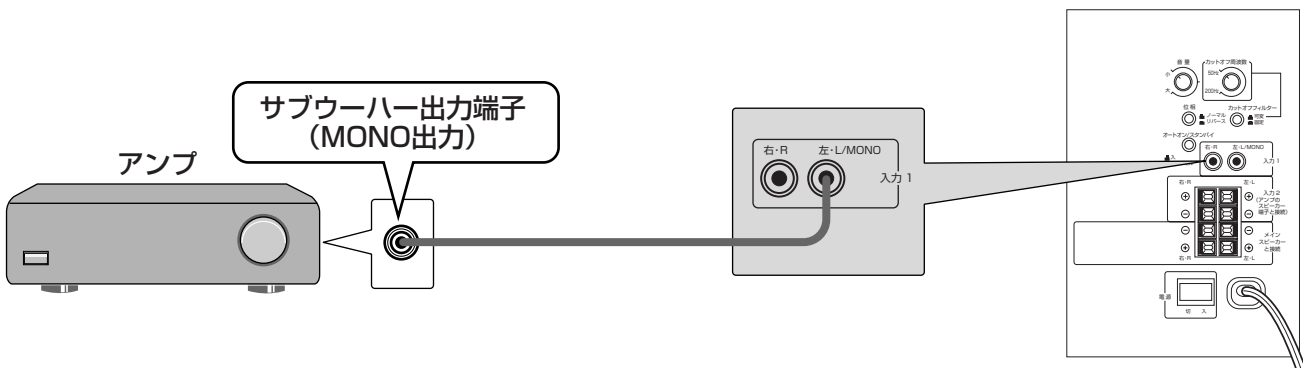
- **アンプと接続する際は必ず、アンプ側の電源を切ってから作業してください。**
- **本機の入力１端子と入力２端子は同時に使用しないでください。ノイズが増えたり故障の原因となります。**
- **本機の入力１端子とアンプ等の REC OUT（録音出力）端子は接続しないでください。**

ちょっと一言

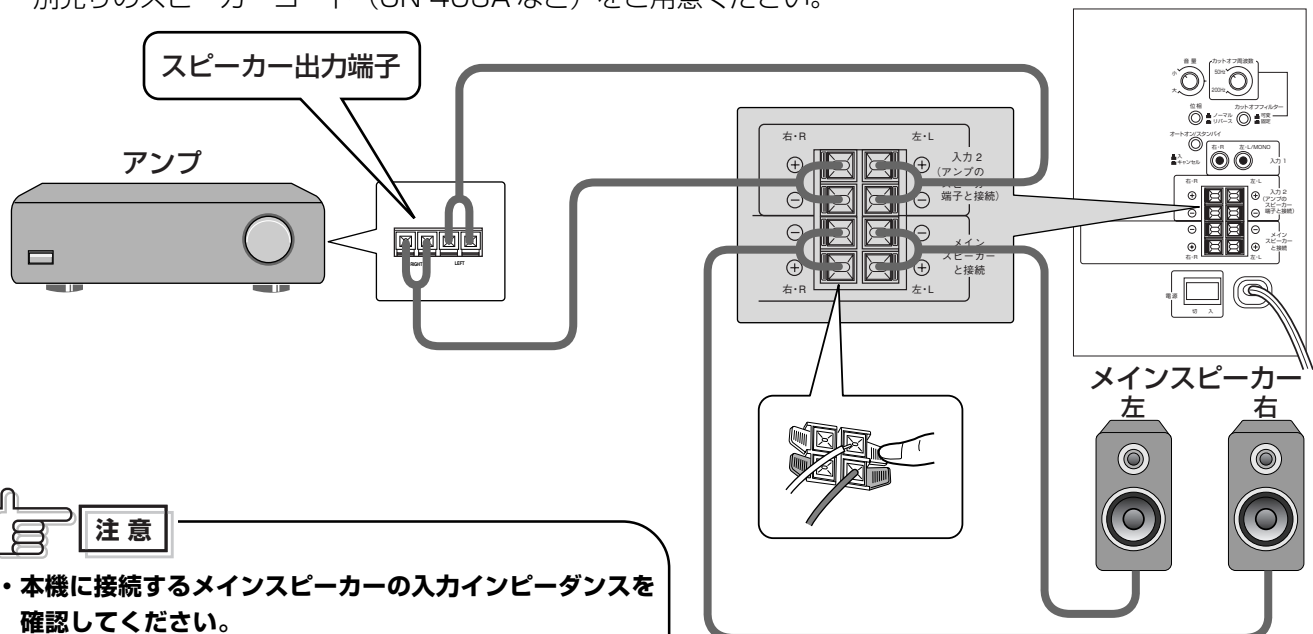
接続するアンプ等にサブウーハー出力（MONO 出力）端子、ラインまたはプリ出力端子のいずれかがある場合は、サブウーハー出力（MONO 出力）端子と接続することをお勧めします。
また、どちらの出力端子もない場合は、スピーカー出力端子と接続をしてください。

■サブウーハー出力端子を備えたアンプや、MONO 出力端子のあるアンプと接続する場合

入力１端子の左・L /MONO 端子に接続してください。（L と R の端子は内部でミキシングされています）

・付属のシグナルコードをご利用ください。

■アンプのスピーカー出力端子と接続する場合

入力２端子に接続してください。
使用するメインスピーカーは、本機の「メインスピーカーと接続」端子と接続してください。
スピーカー端子の右（RIGHT)、左（LEFT）と ⊕、⊖ の極性を良く確認して接続してください。

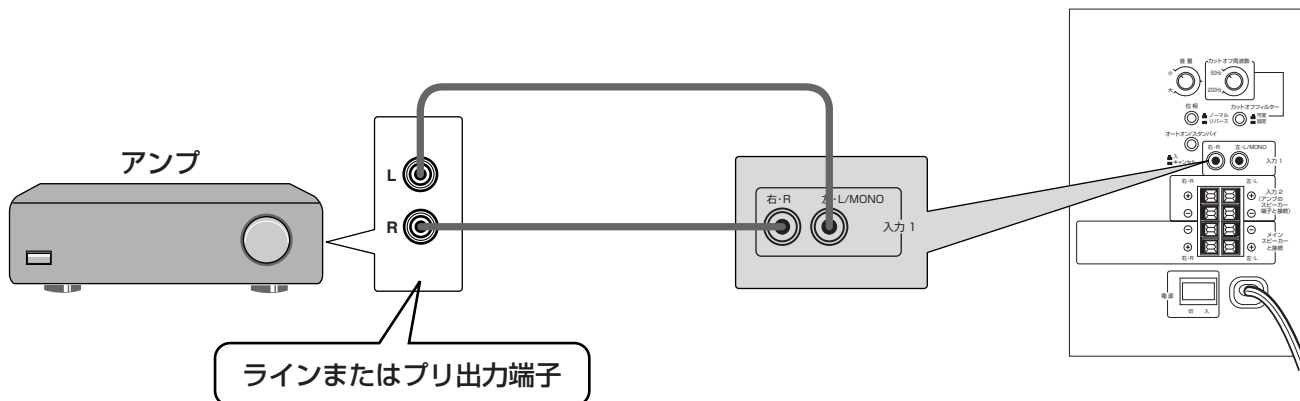
・別売りのスピーカーコード（CN-403A など）をご用意ください。

注 意

- **本機に接続するメインスピーカーの入力インピーダンスを確認してください。**
- **メインスピーカーは、接続するアンプに表示されたインピーダンスの範囲以内のものをご使用ください。**

接　続（つづき）　ー 全ての接続作業が終了するまで、電源コードはコンセントに差し込まないでください ー

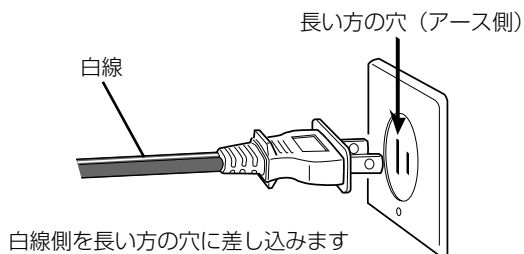
■ラインまたはプリ出力端子のあるアンプと接続する場合

入力 1 端子の右・R、左・L / MONO に接続してください。
端子の右（RIGHT)、左（LEFT）を良く確認して接続してください。

・別売りの接続コード（CN-510E など）をご用意ください。

操作方法　ー アンプ等との接続作業が終了してから、電源コードをコンセントに差し込んでください ー

■電源コードの接続（すべての接続が終わったら）

本機の電源コードには白いマーキングが片側に入っています。これは各機器の電源コードの極性を合わせせることによってシステムとしての極性を合わせ、よりよい音質を得るためのものです。
屋内配線や電源事情により異なりますが、一般的にはコンセントの差し込み口の長い方の穴に白線側がくるように差し込みます。

白線側を長い方の穴に差し込みます

アンプの AC OUTLET に差し込む場合は AC OUTLET の使用可能電力が本機の消費電力（40W）以上あることを確認してください。

■電源を入れる

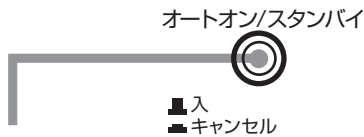
●前面

●背面

・**電源スイッチ**
入：で電源が入ります。
切：で電源が切れます。

・**電源ランプ**
背面の電源スイッチを「入」にすると、電源ランプが緑色に点灯します。

■オートオン／スタンバイ機能「入／キャンセル」切り替え

オートオン／スタンバイ機能を有効にするか、無効にするかの設定をします。

・オートオン／スタンバイスイッチ

：入
オートオン／スタンバイ機能が有効になります。

：キャンセル
オートオン／スタンバイ機能が無効になります。

・オートオン／スタンバイ機能

本機に電源を入れた後、オートオン／スタンバイスイッチが「入」で、無信号状態が約 10 分続くと、スタンバイ状態になり、電源ランプは緑色から赤色になります。また、スタンバイ状態の時に音声信号が入力されると、電源オン状態になり、電源ランプは緑色になります。

小音量再生の場合や信号レベルの低いソフトの再生では、再生中にスタンバイ状態となることがあります。
このようなときは、オートオン／スタンバイスイッチを「キャンセル」にしてください。

注 意

オートオン／スタンバイスイッチが「入」であっても、アンプの音量が 0 または、アンプからの音声信号が極端に小さいときには、スタンバイ状態から電源オン状態に切り替わりません。

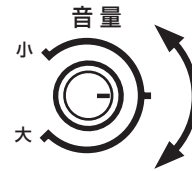
・本機の電源を完全に切るときは、背面の電源スイッチを押して電源を「切」にするか、電源コードをコンセントから抜いてください。

■音量の調節

メインスピーカーとのバランスをとるために音量を調節します。

1. 本機の音量つまみを「小」の位置にします。

2. 接続したアンプの音量を普段聞いている程度に調節し、音楽を再生します。

3. 本機の音量つまみを回して、メインスピーカーの音量とバランスの取れる位置にあわせます。

・本機とメインスピーカーとのバランスをとった後は、接続したアンプのボリュームで、本機とメインスピーカーの音量を調節することができます。

■位相の切り替え

低音が豊かに聞こえる状態に設定します。

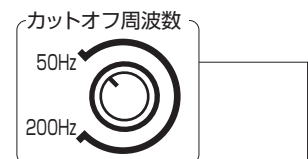
・位相スイッチ

：ノーマル
通常はこちらの状態で、ご使用ください。

：リバース
低音が不足しているときは、こちらをご使用ください。

■カットオフ周波数の調節

・カットオフフィルター機能

ご使用のメインスピーカーと、本機とが最適な音のつながりが得られるように調節します。

・カットオフフィルタースイッチ

：可変
・通常はこちらの状態で、カットオフ周波数を調節してご使用ください。
・お持ちのスピーカーとの組み合わせで中低域が不足している場合は、カットオフ周波数つまみを調節し、中低域を最適にしてください。

：固定
・接続した AV アンプ側でクロスオーバーの設定を行っている場合は、カットオフフィルタースイッチを固定にしてください。カットオフ周波数が 200Hz に固定されます。

故障かな？と思う前に

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th><th colspan="2">処置</th></tr>
<tr><td>電源が入らない</td><td>電源コードがコンセントから抜けている</td><td colspan="2">電源コードをコンセントにしっかり差し込んでください。</td></tr>
<tr><td>（電源）スタンバイ状態にならない</td><td>音声を再生している
音声再生直後である
オートオン／スタンバイスイッチが「▬ キャンセル」になっている</td><td colspan="2">操作方法を参照してください。
（8、9ページを参照してください）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">音がでない
（オン状態にならない）</td><td>音量つまみが「小」になっている</td><td colspan="2">音量つまみを適当な音量になるまで、回してください。</td></tr>
<tr><td>接続のしかたがまちがっている</td><td colspan="2">接続のしかたを確認してください。
（7、8ページを参照してください）</td></tr>
<tr><td>アンプからの音声信号が極端に小さくなっている</td><td colspan="2">操作方法を参照してください。
（8、9ページを参照してください）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音が急にでなくなったら</td><td rowspan="2">音量が大きいため、スピーカーに負荷がかかりすぎている</td><td>電源ランプが赤のとき
（スタンバイ状態）</td><td>1. 電源スイッチを押して本機の電源を切ります。
2. 電源スイッチを押して本機の電源を入れ、音量を調節してください。</td></tr>
<tr><td>電源ランプが緑のとき
（オン状態）</td><td>1. 再生している機器の電源を切ります。
2. 再生していた機器の電源を入れ、音量を調節してください。</td></tr>
</table>

仕　様

－本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。－

種　類 ： パワードサブウーハー
　バスレフ型／防磁形（JEITA）

使用スピーカー ： 17.0 cm　コーンスピーカー

再生周波数帯域 ： 30 Hz ～ 200 Hz

入力端子 ： 入力 1 ／入力インピーダンス 50 k Ω（LOW- LEVEL）
　入力 2 ／入力インピーダンス 470 Ω（HIGH- LEVEL）

出力端子（メインスピーカーと接続） ： スルー出力（HIGH- LEVEL）

電源電圧 ： AC 100 V　50 Hz ／ 60 Hz

内蔵アンプ実用最大出力 ： 100 W（10% THD/AT 45 Hz ／ 4 Ω）

消費電力 ： 40 W（電源「オン」時）
　7 W（オートオン「スタンバイ」時）

最大外形寸法 ： 幅 217 mm ×高さ 393 mm ×奥行 376 mm

質量 ： 9.2 kg

付属品 ： シグナルコード 3m（1 本）

JEITA は、電子情報技術産業教会の規格による数値です。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182) 32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246) 27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
関東・甲信越			
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央3-9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2（第2石原ビル）
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下々条2-1366-1
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.S.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
九州・沖縄			
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.S.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0405

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

保証とアフターサービス（必ずお読みください。）

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**にご相談ください。

ご転居等、保証書記載のお買い上げ販売店にご依頼になれない場合には、11ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

10ページの**「故障かな？と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	パワードサブウーハー
型　名	SX-DW505
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎(　　)　　－

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
＋	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社

11ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120−2828−17**

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045) 450-8950
FAX (045) 450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

・ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0405NSMSANJSC